

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

|      |           |
|------|-----------|
| 事業所名 | アニマートふきあげ |
|------|-----------|

公表日 8年 3月 16日

利用児童数 19名 回収数 89%

|   | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見  | ご意見を踏まえた対応   |
|---|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
|   |   |    |               |     |       |  |  |
| 環境・体制整備   | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。  | 13 | 4             | 0   | 0     | ・もう少し広くてもいいのではないかと。思う。   | ・活動スペースを広く使えるよう工夫しつつ、長期休みや祝日等で屋外活動や外部の施設・設備をお借りした活動の機会等を設けている。               |
|   | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。   | 15 | 1             | 0   | 1     |  |  |
|   | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。  | 16 | 1             | 0   | 0     |  | ・手すり等なし。   |
|   | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。   | 17 | 0             | 0   | 0     |  |  |
| 適切な支援の提供  | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。  | 15 | 1             | 0   | 1     | ・子どもが苦手なことを理解していただき、少しずつ出来るように取り組んでいただき、感謝している。出来たという自信がついて、苦手な事にも積極的にチャレンジするようになった。 | ・週2回、作業療法士と言語聴覚士による個別支援を実施。(必要に応じて)  |
|   | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。  | 16 | 1             | 0   | 0     |  |  |
|   | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。  | 17 | 0             | 0   | 0     |  |  |
|   | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 15 | 1             | 0   | 0     | 未記入：1  |  |
|   | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。  | 17 | 0             | 0   | 0     |  |  |
|   | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。  | 15 | 1             | 0   | 1     | ・イベントが充実しており、様々な体験が出来て楽しんでいる様子。  |  |
|   | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。   | 6  | 7             | 0   | 4     | ・他事業所を併用している。  | ・他事業所と合同でのイベント等の企画、実施。   |
| 保護者への説明等  | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。  | 17 | 0             | 0   | 0     |  | ・契約時に、保護者様に説明させていただいている。   |
|   | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。  | 17 | 0             | 0   | 0     |  | ・保護者様へお渡しの際に、内容を説明させていただき同意を得ている。  |
|   | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。   | 14 | 2             | 0   | 1     |  | ・以前、性についての勉強会を実施した際に、保護者様にもご参加いただいた。今後も定期的に保護者様にご参加いただけるような、勉強会や研修の機会を設けていく。 |
|   | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。   | 16 | 1             | 0   | 0     | ・送迎の際など、細かく様子を伝えていただき、とても安心できる。  | ・リトム(連絡帳)を介してお伝えしたり、送迎の際に口頭でお伝えさせていただいている。                                   |
|   | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。  | 15 | 2             | 0   | 0     | ・いつもしっかりと面談していただき助かっている。   | ・年2回(誕生日、その半年後)の保護者面談実施。(個別支援計画の更新時期に合わせて面談を実施している)                          |
|   | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。  | 16 | 1             | 0   | 0     |  |  |
| 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 13  | 3  | 0             | 1   |       | ・年1回、保護者会を実施。<br>・家族参加型のイベントを企画、保護者様、きょうだい児童多数ご参加いただいている。                            |  |

|         |    |  |    |   |   |   |  |   |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|---|
|         | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 16 | 0 | 0 | 1 |  |   |
|         | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。  | 17 | 0 | 0 | 0 |  |   |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。                           | 17 | 0 | 0 | 0 |  | ・毎月広報誌の発行、FacebookやInstagramを通じ活動の様子等を発信、Official Accountの活用、自己評価の結果を保護者会で周知・紙媒体での配布・ホームページで公表。 |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。   | 16 | 1 | 0 | 0 |  | ・SNS更新時、顔出しNGの児童や、児童の名前が分からないよう、スタンプ等で隠す等の対応、更新前にダブルチェックを実施。                                    |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。         | 17 | 0 | 0 | 0 |  | ・各マニュアルに沿った対応について、内部研修に取り入れ内容の見直しや、不審者対応訓練等の実施をしている。  |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。   | 16 | 0 | 0 | 1 |  | ・年2回（5月・11月）に避難訓練を実施、9月1日の防災の日、3月11日（東日本大震災）にも防災食（おやつ）の提供や、防災について考える機会を設けている。                   |
|         | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                                     | 16 | 1 | 0 | 0 |  | ・安全計画の策定。   |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                                      | 17 | 0 | 0 | 0 |  | ・緊急時の連絡先を明確にし、速やかに連絡が取れる体制の構築。  |
| 満足度     | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。   | 17 | 0 | 0 | 0 |  | ・悩みなども聞いてもらえることで、本人も安心できる場所になっている。  |
|         | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。   | 16 | 1 | 0 | 0 |  | ・毎通所を楽しみにしている、本気にしてとても良い刺激になっていると思う。<br>・毎日楽しみにしている、子どもにとって自分の居場所が出来るのはとても大事な事だと思っている。          |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。   | 17 | 0 | 0 | 0 |  |   |

## 公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名    | アニマートふきあげ |  | 公表日 |         | 8年 3月 16日  |  |
|---------|-----------|--|-----|---------|--|--|
|         | チェック項目    | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点  |  |
| 環境・体制整備 | 1         | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 3   | 3       | ・利用児童の成長に伴い、活動内容（体操教室等）によっては窮屈さを感じる事もあるが、物の配置を工夫したり、外部施設をお借りする等して対応している。                   | ・その日の利用人数や学校送迎の状況等を見ながら、学年や人数によって活動内容や空間を分ける等の工夫をしていく。     |
|         | 2         | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 4   | 2       | ・下校時間にもよるが、出来るところは学校を複数まとめて送迎するようにしている。  | ・曜日や時間帯によっては、事業所内スタッフが手薄になることがある為、事故やケガのないように工夫している。       |
|         | 3         | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 2   | 4       | ・玄関、宿題やクールダウンに使用できる部屋（相談室）、児童ルーム、事務室等はつきりしている。<br>・体操教室時は窮屈を感じる事もある為、ぶつからないよう児童の配置を工夫して対応。 | ・事業所内は段差なし。  |
|         | 4         | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 4   | 2       | ・建物の構造上、トイレは1つしかなく狭めだが、毎日・汚れた際に都度掃除しており、失禁時等必要に応じてパーテーションを使用するなど配慮している。                    |  |
|         | 5         | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 6   | 0       |  | ・必要に応じて使用出来るよう対応しているが、場合によっては使用出来ない事もあり、部屋数は足りないと感じる部分もある。 |
| 業務改善    | 6         | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 6   | 0       |  |  |
|         | 7         | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 6   | 0       | ・年1回保護者アンケートを実施、結果を保護者会で周知、ホームページに公表。  | ・保護者向けアンケートにあったご意見を、事業所の運営に反映。                             |
|         | 8         | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 6   | 0       | ・会議の際に、自分の意見や考えを発言しやすい環境や雰囲気づくりを心がけている。  |  |
|         | 9         | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 6   | 0       | ・系列事業所管理者の視点からの指摘。   | ・第三者委員会の設置はない。   |
|         | 10        | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 6   | 0       | ・毎月1回、事業所内内部研修を実施。<br>・年1回、法人全体での法令遵守の研修に全職員参加。<br>・外部の研修にも積極的に参加している。                     | ・外部研修にも積極的に参加、内部研修にて全スタッフに落とし込みを実施。                        |
| 適切な支援   | 11        | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 6   | 0       | ・事業所ホームページで公表している。   |  |
|         | 12        | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 6   | 0       |  |  |
|         | 13        | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 6   | 0       | ・毎月の会議で話し合いを行う。  |  |
|         | 14        | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 6   | 0       |  |  |
|         | 15        | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 6   | 0       |  |  |
|         | 16        | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6   | 0       |  |  |
|         | 17        | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 6   | 0       | ・スタッフ全員で意見を出し合い、検討している。  |  |

|  |  |  |   |  |  |   |
|--|--|--|---|--|--|---|
| 援<br>の<br>提<br>供   | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 6 | 0  | ・スタッフ全員で意見を出し合い、検討している。  |   |
|  | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                     | 6 | 0  |  |   |
|  | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。              | 6 | 0  | ・朝のミーティングで、1日の流れとリトム担当や学校送迎等の分担を確認している。  | ・勤務時間の関係でミーティングに参加できないスタッフに関しては、出勤時に申し送りを行う。  |
|  | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                       | 6 | 0  | ・終業後のミーティングで申し送りを行い、情報の共有を図っている。   | ・勤務時間の関係でミーティングに参加できないスタッフに関しては、翌日申し送りを行う。  |
|  | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                       | 6 | 0  | ・家庭への連絡（リトム）の他に、学校からの申し送り、送迎時の保護者からの申し送り、その他児童の事で気付いたこと等、メモに残したり共有しながら、個別支援記録に反映。                  |   |
|  | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                        | 6 | 0  | ・6か月に1度、（誕生日、その半年後）モニタリングを実施。個別支援計画の更新を行う。   |   |
|  | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。                      | 6 | 0  |  |   |
|  | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                         | 6 | 0  | ・様々な場面において、自分で考える・自分で選択する事が出来るようにしている。（選択肢の中から自分で選択する、声掛けの仕方を工夫する等）                                |   |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                     | 6 | 0  | ・児童発達支援管理責任者と、児童の担当スタッフが参加。  |   |
|  | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                   | 6 | 0  | ・はちのへファミリークリニック様に協力医を依頼している。   |   |
|  | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。      | 6 | 0  |  | ・予定変更はいただいているが、行事予定や下校時刻が変更になった際に、把握出来ておらず連絡をいただく事があった為、変更があった際は都度お知らせいただけるようお願いしている。（電話、口頭、リトムへの記載、Official Account） |
|  | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                     | 6 | 0  | ・卒園前に先方へ伺い、児童の様子を見学させていただいたり、情報共有させていただいている。   |   |
|  | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。             | 6 | 0  |  | ・過去、卒業児童の情報提供を行っていた。今後も、必要に応じて実施していく予定。   |
|  | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                      | 2 | 4  |  | ・専門機関との連携は無いが、情報収集しつつ、今後必要に応じて研修等の機会を設けていきたいと考えている。   |
|  | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                       | 0 | 6  | ・他放課後等デイサービスとの交流や、利用児童のきょうだい児との交流はある。  | ・イベントを通して外部の大人と接する機会はあるが、地域の子どもの交流はない為、今後そういった機会を設けていきたい。   |
|  | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 2 | 4  |  | ・前年度、吹上地区高齢者支援センター 八戸医師会 吹上地区連合会の会議に初参加。今後も、機会があれば積極的に参加したいと考えている。  |
|  | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                             | 6 | 0  | ・家庭への連絡（リトム）だけでなく、送迎時に保護者と密に利用時の様子等をお伝えさせていただいたり、保護者からも家庭や学校での様子等をお伝えいただいている。                      |   |
|  | 35   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 0  | ・保護者会に、作業療法士・言語聴覚士にも参加していただき、親子で出来る運動を一緒に体験したり、保護者からの相談等に対応していただいている。<br>・過去、性に関する勉強会等を実施、多数参加いただい | ・今後も、保護者参加型の勉強会や研修会を実施、情報提供等行なっていく。   |
| 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 6  | 0 | ・契約時に、保護者様に説明させていただいている。                 |  |   |
| 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6  | 0 | ・年2回、保護者面談を実施。（誕生日、半年後と、個別支援更新時期に合わせて実施） |  |   |
| 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 6  | 0 |  |  |   |

|          |    |  |   |   |  |   |
|----------|----|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 6 | 0 | ・年2回、保護者面談を実施。（誕生日、半年後と、個別支援更新時期に合わせて実施）<br>・送迎時にお話させていただいたり、都度必要に応じて対応している。                                     |   |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 1 | ・年1回、保護者会を実施。作業療法士、言語聴覚士にも参加していただき、体操教室を同時開催。親子やきょうだいで一緒に体を動かす機会を設けている。<br>・保護者やきょうだい参加型のイベントを企画、実施。（調理レクや焼きいも等） | ・今後も、保護者やきょうだい参加型のイベントを複数企画・実施したいと考えている。また、今まで保護者同士の交流までは出来ていなかった為、そのような場を設けられたらと考えている。 |
|          | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 6 | 0 |  |   |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 | 0 | ・事業所内広報誌は毎月発行。行事内容やお知らせ等掲載するようにしている。また、予定等変更があった際はOfficial Accountで周知させていただいている。                                 |   |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 6 | 0 |  |   |
|          | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 6 | 0 |  |   |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 2 | 4 | ・地域のお店での買い物体験を実施。  |   |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 6 | 0 |  |   |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 | 0 | ・年2回（3月・11月）に避難訓練を実施。3月11日の防災の日、3月11日（東日本大震災）にも防災食（おやつ）の提供や、防災について考える機会を設けている。業務継続計画（BCP）については、都度見直しを実施。         |   |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | 6 | 0 | ・病院受診時には処方箋を見せていただいたり、服薬状況の確認等実施している。  |   |
|          | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 5 | 1 | ・児童のアレルギーについてはスタッフ間で周知、共有している。   | ・医師の指示書はないが、必要に応じていただくようにする。  |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 6 | 0 |  |   |
|          | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 6 | 0 |  |   |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 6 | 0 | ・事故防止委員会を設置。事業所内、法人全体の事故防止委員で事例を共有、検討している。   |   |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 6 | 0 | ・虐待防止委員会を設置。定期的に事業所内研修で振り返りを実施。外部の虐待防止研修にも参加している。  |   |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 6 | 0 | ・身体拘束適正化委員会を設置。事業所内、法人全体の身体拘束適正化委員で事例の共有や検討をしている。  |   |

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |           |    |           |
|----------------|-----------|----|-----------|
| ○事業所名          | アニマートふきあげ |    |           |
| ○保護者評価実施期間     | 7年 6月 1日  |    | 7年 6月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)    | 19 | (回答者数) 17 |
| ○従業者評価実施期間     | 7年 7月 1日  |    | 7年 7月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)    | 6  | (回答者数) 6  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 8年 3月 12日 |    |           |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること               | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|--|--|
| 1 | ・作業療法士・言語聴覚士による、月2回(第3火曜日、第4木曜日)の体操教室や、週2回(火曜日・木曜日)の個別支援 | ・個別支援実施時に、保護者にも支援の様子を見ていただく機会を設ける、その際に支援内容について保護者へのフィードバックや、保護者からの相談を受けたり、自宅でも取り組めるような支援の提案等。  | ・年1回実施の保護者会時に、作業療法士、言語聴覚士にも参加していただき、保護者会と併せて親子で出来る運動等を行なっていただいているが、日程によっては参加出来ない方もおり、保護者会だけでなく祝日や長期休みのイベントとして企画するなどしていく。 |
| 2 | ・長期休みや祝日等、学校休校日のイベント活動。                                  | ・家庭ではなかなか体験できない事(屋外での大人数での調理レク、りんごの受粉体験、講師を招いてのケーキ作り等)や、保護者やきょうだい児も一緒に参加して楽しんでいただけるようなイベントを企画。 | ・今まで様々なイベントを実施していく中で、保護者同士の交流までは出来ていなかった為、今後そのような場を設けられたらと考えている。   |
| 3 |  |  |  |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | ・高学年の児童に対する、支援に関して。                        | ・性教育等の必要性を感じる場面も出てきているが、実際どのように進めたり、教えていけばいいのが悩む事もある。(利用児童は男児の方が多いが、スタッフは女性のみ。)・学年が上がると共に、平日は下校時間の兼ね合い等で利用時間が短くなる。活動が単調になりがち。 | ・講師を招いての性教育の実施や、系列事業所の男性スタッフに協力を依頼する。<br>・単調になりがちの高学年の児童の活動内容の見直しや、検討、充実を図る為情報収集等を行なっていく。 |
| 2 |  |   |   |
| 3 |  |   |   |